

①地域の概要

上越市西部、通称、桑取谷と呼ばれる中山間地域において、「守る・深める・創造する」ことで豊かな里山・里海の地域文化を育むことを理念として活動を展開している。お祭りや神楽伝承などの地域活動の支援や民俗文化の保全と記録、農産物加工、カフェ、旅館などの地域資源を活かした産業づくりに取り組んでいる。
 近年では、地元高齢者を対象としたサロン運営・地元子ども達への地域教育（Uターン教育）に力を入れている。また上越市からの受託事業（水源森林公園や環境教育施設の運営）を行うなどその活動は多岐に渡る
 地域内外をつなぎながら、自立した地域コミュニティづくりを目指している

②調査の手法

- (1) 情報収集手法
- ・コーディネータースタッフへのヒアリング
 - ・団体発行書籍の分析
 - ・団体活動資料の分析
 - ・ロジックモデルシートを用いた参加型アセスメントワークショップの実施
- (2) 分析手法
- ・コミュニティ自治展開マトリックスによる分析
 - ・ロジックモデルシートによる分析
- (3) 考察手法
- ・分析結果を用いた知見導出と波及展開のための提案

④考察

- (1) 全工程へのステークホルダーの参加と交流・学習の推進
 事業構想段階から取組につながる調査についての参加と交流・学習を促進するための仕掛けづくりが重要。
- (2) 参加者の意識や成長実感に合わせた適切なアセスメント（評価）の有効性
 評価指標について参加者自らによる導出することによって、活動に対する動機と意識を高めることができる。
- (3) 取組内容の順応的転換
 全工程の進捗や展開プロセスを可視化し共有し、コミュニケーションを円滑化するとともに、必要に応じた事業の順応的転換を図る余地を確保すること。
- (4) 拠点となるインフラ基盤の重要性
 (1)～(3)のソフト面での活動を継続的・安定的に実施していくためには、拠点となる施設等の設備は必須。

これらの各取り組みの推進を図るファシリテーター・コーディネーター人材として、「社会教育士」の活用、中山間地域づくりを支える新たな恒常的財源として「森林環境譲与税」の活用を検討することが有効。

③調査・分析結果

		地域づくりの各主体の関わり		
		内部の合意形成・意思決定	行政・中間支援組織との連携	外部との関わり
地域づくり活動の段階	問題意識の共有 2001年以前	<ul style="list-style-type: none"> ■ゴルフ場建設問題と新たな地域づくり構想「リフレッシュビレッジ構想」 ■明日の桑取を考える会 ■各種地域団体の立ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ■行政支援を受けたNPO組織による地域資源に関する包括的調査「森林・景観・教育」に関する調査・研究事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ウッドワークとリフレ事業と連動した地域資源に根ざした産業への萌芽的活動（地域間伐材利用）
	活動開始 2002-2005年	<ul style="list-style-type: none"> ■NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部設立 ■地域活動支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■受託事業実施と経験築盛・地球環境学校・くわどり市民の森 	<ul style="list-style-type: none"> ■地元企業連携 くわどりゆったり村 ■地域関係団体連携 桑取フレッシュ生産組合他
	発展 I期 2006-2010年 II期 2011-2015年 III期 2016-現在	<ul style="list-style-type: none"> ■地域資源調査による活動の見直しと事業基盤構築（体験・販売・文化） ■経済（生業）活動と福祉・教育事業の重点化 	<ul style="list-style-type: none"> ■各種行政受託事業の拡充 山の子どもの国事業他 ■地域学校協働活動推進 遊びの達人教室、総合学習 	<ul style="list-style-type: none"> ■メディア発信 ■他団体視察 ■企業連携の推進 ■大学連携・有識者の知見を活かした新たな展開構築

